

島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(耐震性についての計算書:原子炉圧力容器他)

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別 目録番号	図書名称	該当頁					
1	2022/1/31	NS2-添2-003-10	耐震(計算書)(VI-2-3-3-1-1)	VI-2-3-3-1-1 原子炉圧力容器の応力解析の方針	P.23	表3-5について、Sy(RT)の記載要否を説明すること。	2022/4/18	Sy(RT)の欄はフォーマットとして記載していますが、原子炉圧力容器の許容応力の算出には使用しないため「-」としています。	-	
2	2022/1/31	NS2-添2-003-10	耐震(計算書)(VI-2-3-3-1-1)	VI-2-3-3-1-1 原子炉圧力容器の応力解析の方針	P.21	表3-3について、疲労評価不要の適用についての考え方及び支圧の扱いを説明すること。	2022/4/18	表3-3に疲労解析不要となる条件について記載しました。先行プラントでは原子炉圧力容器の耐震評価において支圧応力を考慮していますが、島根2号機では原子炉圧力容器内部構造物の構造の違いにより、支圧応力を負担する部位が無いため、評価対象としていません。	NS2-添2-003-10改01「VI-2-3-3-1-1 原子炉圧力容器の応力解析の方針」P.22	
3	2022/1/31	NS2-添2-003-14	耐震(計算書)(VI-2-3-3-2-3)	VI-2-3-3-2-3 制御棒駆動機構ハウジング支持金具の耐震性についての計算書	P.7	先行プラントの評価を踏まえ、剛構造であることについて説明すること。	今回回答	制御棒駆動機構ハウジング支持金具を剛構造として扱うことの妥当性を確認しました。	NS2-補-027-10-88「制御棒駆動機構ハウジング支持金具の固有周期について」	
4	2022/1/31	NS2-添2-003-14	耐震(計算書)(VI-2-3-3-2-3)	VI-2-3-3-2-3 制御棒駆動機構ハウジング支持金具の耐震性についての計算書	P.13	曲げ以外の評価が必要ないか、応力評価の考え方を整理して説明すること。	今回回答	曲げ応力以外の評価結果を追加しました。	NS2-添2-003-14改01「VI-2-3-3-2-3 制御棒駆動機構ハウジング支持金具の耐震性についての計算書」P.9,15,18	
5	2022/1/31	NS2-添2-003-16	耐震(計算書)(VI-2-3-3-2-5)	VI-2-3-3-2-5 差圧検出・ほう酸水注入系配管(ティーよりN11ノズルまでの外管)の耐震性についての計算書	P.20	Unの評価が不要であることを整理して説明すること。	2022/6/27	運転状態Ⅰ及びⅡにおける疲労解析は不要であることを示す注記を追加しました。	NS2-添2-003-16改01「VI-2-3-3-2-5 差圧検出・ほう酸水注入系配管(ティーよりN11ノズルまでの外管)の耐震性についての計算書」P.22	
6	2022/1/31	NS2-補-027-10-43	補足説明資料	原子炉圧力容器関連及び原子炉格納容器関連における工事計画認可で実施する評価手法の概要と比倍評価について	P.38	圧力容器スタビライザの二次応力評価における比倍評価の扱いを整理して説明すること。	2022/4/18	圧力容器スタビライザでは二次応力は評価対象でないため、荷重比による評価は一次応力のみを対象としています。	-	
7	2022/1/31	NS2-添2-003-16	耐震(計算書)(VI-2-3-3-2-5)	VI-2-3-3-2-5 差圧検出・ほう酸水注入系配管(ティーよりN11ノズルまでの外管)の耐震性についての計算書	P.14	図4-1について、解析モデルのモデル化の考え方を整理して説明すること。	2022/6/27	解析モデルの考え方について、補足説明資料として整理しました。	NS2-補-027-10-70「差圧検出・ほう酸水注入系配管(原子炉圧力容器内部及びティーよりN11ノズルまでの外管)の解析モデル」	
8	2022/1/31	NS2-添2-003-10	耐震(計算書)(VI-2-3-3-1-1)	VI-2-3-3-1-1 原子炉圧力容器の応力解析の方針	P.9	許容応力評価条件の温度の違いについて考え方を説明すること。	2022/4/18	一次応力に対しては保守的な評価となるよう最高温度を適用し、一次+二次応力及び繰返し荷重に対しては運転状態を代表する温度を適用することを記載しました。	NS2-添2-003-10改01「VI-2-3-3-1-1 原子炉圧力容器の応力解析の方針」P.9	
9	2022/2/14	NS2-補-027-10-43	補足説明資料	原子炉圧力容器関連及び原子炉格納容器関連における工事計画認可で実施する評価手法の概要と比倍評価について	P.2	3.(1)a.「条件に応じて補正を行う」の内容を説明すること。	2022/4/18	「補正を行う」内容を明確にするため、「評価用荷重の比率を乗じて発生応力を求める」として記載を修正しました。	NS2-補-027-10-43改01「原子炉圧力容器関連及び原子炉格納容器関連における工事計画認可で実施する評価手法の概要と荷重比等による評価について」P.2	
10	2022/2/14	NS2-補-027-10-43	補足説明資料	原子炉圧力容器関連及び原子炉格納容器関連における工事計画認可で実施する評価手法の概要と比倍評価について	P.6	許容応力状態について、運転状態Ⅴの記載がない理由を説明すること。	2022/4/18	運転状態Ⅴは運転状態Ⅲ又は運転状態Ⅳによる条件に包絡されているため、評価を実施しないことを記載しました。	NS2-補-027-10-43改01「原子炉圧力容器関連及び原子炉格納容器関連における工事計画認可で実施する評価手法の概要と荷重比等による評価について」P.1	
11	2022/2/14	NS2-添2-003-10	耐震(計算書)(VI-2-3-3-1-1)	VI-2-3-3-1-1 原子炉圧力容器の応力解析の方針	全体	SRSS法ではなく、組合せ係数法を適用している場合があれば、その考え方を説明すること。	2022/6/27	【NS2-他-130「島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(耐震評価対象の網羅性、既工認との手法の相違点の整理について)」のNo.17にて回答】	-	コメント移動

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別、 目録番号	図書名称	該当頁					
12	2022/3/16	NS2-添2-003-12	耐震(計算書)(VI-2-3-3-2-1)	VI-2-3-3-2-1 原子炉圧力容器スタビライザの耐震性についての計算書	P.11	スタビライザ応力評価点P2(ブラケット)について、構造及び評価上の厳しさを踏まえた評価点位置の設定の考え方を説明すること。	後日回答			
13	2022/3/16	NS2-添2-003-12	耐震(計算書)(VI-2-3-3-2-1)	VI-2-3-3-2-1 原子炉圧力容器スタビライザの耐震性についての計算書	P.16	ブラケットについて、組合せ応力の評価を不要とする理由を記載して説明すること。	後日回答			
14	2022/3/25	NS2-添2-003-26	耐震(計算書)(VI-2-3-3-3-10)	VI-2-3-3-3-10 差圧検出・ほう酸水注入系配管(原子炉圧力容器内部)の耐震性についての計算書	P.8	解析モデルについて、拘束点の間に節点が無い部分があるが、地震動による応力を適切に評価できるか説明すること。	今回回答	解析モデルの考え方について、補足説明資料として整理しました。	NS2-補-027-10-70改01「差圧検出・ほう酸水注入系配管(原子炉圧力容器内部及びティーよりN11ノズルまでの外管)の解析モデル」	コメント移動
15	2022/4/18	NS2-添2-003-15	耐震(計算書)(VI-2-3-3-2-4)	VI-2-3-3-2-4 ジェットポンプ計測配管貫通部シールの耐震性についての計算書	P.3	計測配管のクラスについて確認の上、耐震評価の必要性を説明すること。	2022/6/27	ジェットポンプ計測ノズルに接続する配管はSクラスとして耐震評価を行っていますが、主配管には該当しないことから耐震性についての計算書の作成対象とはしていません。	-	
16	2022/4/18	NS2-添2-003-15	耐震(計算書)(VI-2-3-3-2-4)	VI-2-3-3-2-4 ジェットポンプ計測配管貫通部シールの耐震性についての計算書	P.10	図3-1について、実機との対応が分かるように説明すること。また、荷重のかけ方が分かるように説明すること。	2022/6/27	実機におけるモデル化の範囲を図示しました。また、解析モデルへの荷重作用位置について記載を追加しました。	NS2-添2-003-15改01「VI-2-3-3-2-4 ジェットポンプ計測配管貫通部シールの耐震性についての計算書」P.6.11.12	
17	2022/4/18	NS2-添2-003-15、NS2-添2-003-11	耐震(計算書)(VI-2-3-3-2-4)(VI-2-3-3-1-2)	VI-2-3-3-2-4 ジェットポンプ計測配管貫通部シールの耐震性についての計算書、VI-2-3-3-1-2 原子炉圧力容器の耐震性についての計算書	P.13	簡易弾塑性解析が必要な評価部位について、補足説明資料にてK _e 等をまとめて説明すること。	2022/6/27	原子炉圧力容器及び付属構造物において、耐震性についての計算書に記載した代表評価点以外での簡易弾塑性解析について、計算過程及び計算結果を補足説明資料として整理しました。	NS2-補-027-10-71「原子炉圧力容器及び圧力容器付属構造物の簡易弾塑性解析結果について」	
18	2022/4/18	NS2-添2-003-10改01	耐震(計算書)(VI-2-3-3-1-1)	VI-2-3-3-1-1 原子炉圧力容器の応力解析の方針	P.29	N9の外荷重について、荷重をどのように束ねているか、どの位置に作用させているか分かるように説明すること。	2022/6/27	N9ノズルに作用する荷重は、ノズルに接続する全ての配管の地震応答解析結果の反力の合計値を考慮しています。「原子炉圧力容器の応力解析の方針」にN9ノズルに作用させる荷重を記載し、「ジェットポンプ計測配管貫通部シールの耐震性についての計算書」に解析モデルに荷重を作用させる位置について記載しました。	NS2-添2-003-10改02「VI-2-3-3-1-1 原子炉圧力容器の応力解析の方針」P.30 NS2-添2-003-15改01「VI-2-3-3-2-4 ジェットポンプ計測配管貫通部シールの耐震性についての計算書」P.6.12	
19	2022/6/27	NS2-補-027-10-70	補足説明資料	差圧検出・ほう酸水注入系配管の解析モデル	P.2	差圧検出・ほう酸水注入系配管の解析モデルについて、モデル化範囲の対象外としている接続配管による影響を詳細に説明すること。	今回回答	本設備の解析モデルにおいて、接続配管の解析モデルに対して保守的な荷重が得られることについて説明を追加しました。	NS2-補-027-10-70改01「差圧検出・ほう酸水注入系配管の解析モデル」P.2	
20	2022/6/27	NS2-補-027-10-70	補足説明資料	差圧検出・ほう酸水注入系配管の解析モデル	P.5	接続配管の解析モデルにおいて、ティー部の上部より接続する配管の解析モデル上の扱いを説明すること。	今回回答	モデル化範囲の対象外としている接続配管については、口径が小さいことから解析モデルに含めないことを記載しました。	NS2-補-027-10-70改01「差圧検出・ほう酸水注入系配管の解析モデル」P.1.2.6	
21	2022/6/27	NS2-補-027-10-28	補足説明資料	原子炉圧力容器の耐震性についての計算書におけるブラケット類の応力評価について	P.1	ブラケット類の応力評価について、一次二次応力評価を省略することに関する考え方を説明すること。	今回回答	ブラケット類の一次二次応力評価について、一次応力評価で代表可能な考え方を記載しました。	NS2-補-027-10-28改01「原子炉圧力容器の耐震性についての計算書におけるブラケット類の応力評価について」P.1	
22	2022/6/27	NS2-補-027-10-28	補足説明資料	原子炉圧力容器の耐震性についての計算書におけるブラケット類の応力評価について	P.4	ブラケット類の疲労評価の要否に関する評価について、2点間の温度差ΔTを評価する場合の、2点間の距離を説明すること。	今回回答	温度差を考慮する範囲について考え方を明確にするため、ブラケット周辺の任意の2点を対象とすることを記載しました。	NS2-補-027-10-28改01「原子炉圧力容器の耐震性についての計算書におけるブラケット類の応力評価について」P.4	

島根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所(耐震性についての計算書:原子炉压力容器他)

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
1	NS2-添2-003-10改01	VI-2-3-3-1-1 原子炉压力容器の応力解析の方針	P.目-1~3	項目の追加に伴い、目次を修正しました。	2022/4/12	
2	NS2-添2-003-10改01	VI-2-3-3-1-1 原子炉压力容器の応力解析の方針	P.5~7	図書中で使用されている記号のうち、説明の無かった記号について「2.4 記号の説明」に説明を追加しました。	2022/4/12	
3	NS2-添2-003-10改01	VI-2-3-3-1-1 原子炉压力容器の応力解析の方針	P.7	本書を参照する設備に適用する計算精度と数値の丸め方を示すため、「2.5 計算精度と数値の丸め方」を追加しました。	2022/4/12	
4	NS2-添2-003-10改01	VI-2-3-3-1-1 原子炉压力容器の応力解析の方針	P.8	本書を参照する設備を明確にするため、「原子炉压力容器」以外で本書を参照する設備についての記載を「3.1 評価対象機器」に追加しました。これに伴い、注記を追加しました。	2022/4/12	
5	NS2-添2-003-10改01	VI-2-3-3-1-1 原子炉压力容器の応力解析の方針	P.12~15	今回工認において使用した解析コードを示すため、「5.1 計算に使用する解析コード」を追加しました。これに伴い、後段の項番号を修正しました。	2022/4/12	
6	NS2-添2-003-10改01	VI-2-3-3-1-1 原子炉压力容器の応力解析の方針	P.12	応力解析において適用する荷重の考え方を示すため、「5.2 荷重条件の選定」を追加しました。	2022/4/12	
7	NS2-添2-003-10改01	VI-2-3-3-1-1 原子炉压力容器の応力解析の方針	P.12	主応力の計算方法を明確にするため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)計算した応力は、応力の分類ごとに重ね合わせ、組合せ応力を求める。組合せ応力は、一般に σ_t , σ_l , σ_r , τ_{tl} , τ_{lr} , τ_{rt} の6成分を持つが、 (新)荷重ごとに計算した応力を重ね合わせた結果から、主応力を求める。応力成分は一般に σ_t , σ_l , σ_r , τ_{tl} , τ_{lr} , τ_{rt} の6成分であるが、	2022/4/12	
8	NS2-添2-003-10改01	VI-2-3-3-1-1 原子炉压力容器の応力解析の方針	P.12	No.7の記載の見直しに伴い、以下の記載を削除しました。 ・上式により主応力を求める。	2022/4/12	
9	NS2-添2-003-10改01	VI-2-3-3-1-1 原子炉压力容器の応力解析の方針	P.13	疲労解析が不要となる場合の考え方を示すため、「5.4.1 疲労解析不要の検討」を追加しました。	2022/4/12	
10	NS2-添2-003-10改01	VI-2-3-3-1-1 原子炉压力容器の応力解析の方針	P.15	他の図書のとフォーマットの整合のため、評価式の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧) $f_{ts} = \text{Min}[1.4 \cdot f_{to} - 1.6 \cdot \tau_b, f_{to}]$ (新) $f_{ts} = \text{Min}[1.4 \cdot f_{to} - 1.6 \cdot \tau_b, f_{to}]$	2022/4/12	
11	NS2-添2-003-10改01	VI-2-3-3-1-1 原子炉压力容器の応力解析の方針	P.17	耐震計算書に記載する繰返し荷重の評価結果の考え方を示すため、「6.2 繰返し荷重の評価結果」を追加しました。	2022/4/12	
12	NS2-添2-003-10改01	VI-2-3-3-1-1 原子炉压力容器の応力解析の方針	P.22	疲労解析が不要となる場合の考え方を示すため、表3-3に注記*5を追加しました。	2022/4/12	
13	NS2-添2-003-10改01	VI-2-3-3-1-1 原子炉压力容器の応力解析の方針	P.34	表4-1(7)において、合せ係数法適用後の荷重を記載していましたが、ここでは合せ係数法適用前の荷重を記載し、適用した合せ係数の考え方は個別の計算書で示すこととしたため、「地震荷重 S_s 」の「軸力」の値を修正しました。これに伴い、注記番号を修正しました。	2022/4/12	
14	NS2-添2-003-11	VI-2-3-3-1-2 原子炉压力容器の耐震性についての計算書	P.320,323	他の図書のとフォーマットの整合のため、評価式の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧) $f_{ts} = \text{Min}[1.4 \cdot f_{to} - 1.6 \cdot \tau_b, f_{to}]$ (新) $f_{ts} = \text{Min}[1.4 \cdot f_{to} - 1.6 \cdot \tau_b, f_{to}]$	2022/4/12	
15	NS2-添2-003-11	VI-2-3-3-1-2 原子炉压力容器の耐震性についての計算書	P.320,323	他の図書のとフォーマットの整合のため、記載を適正化しました。 (旧)引張り (新)引張	2022/4/12	
16	NS2-添2-003-11	VI-2-3-3-1-2 原子炉压力容器の耐震性についての計算書	P.320,323	適用した合せ係数法の考え方を示すため、表23-1に注記を追加しました。これに伴い、注記番号を修正しました。	2022/4/12	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
17	NS2-添2-003-11	VI-2-3-3-1-2 原子炉圧力容器の耐震性についての計算書	P.321	組合せ係数法の適用対象条件を明確にするため、23.2.4の記載内容を見直しました。	2022/4/12	
18	NS2-補-027-10-18改01	原子炉圧力容器、炉心支持構造物及び原子炉圧力容器内部構造物の重大事故時等における耐震評価について	表紙	図書中の記載との整合のため、図書名称を見直しました。(下線部参照) (旧)炉心支持構造物、原子炉圧力容器及び原子炉圧力容器内部構造物の重大事故時等における耐震評価について (新)原子炉圧力容器、炉心支持構造物及び原子炉圧力容器内部構造物の重大事故時等における耐震評価について	2022/4/12	
19	NS2-補-027-10-18改01	原子炉圧力容器、炉心支持構造物及び原子炉圧力容器内部構造物の重大事故時等における耐震評価について	P.2	原子炉圧力容器内部構造物に適用する地震動の考え方を明確にするため、表2-1に注記を追加しました。	2022/4/12	
20	NS2-補-027-10-18改01	原子炉圧力容器、炉心支持構造物及び原子炉圧力容器内部構造物の重大事故時等における耐震評価について	P.2.4.7,10	参照する補足説明資料を明確にするため、補足説明資料の図書番号を追記しました。(下線部参照) (旧)「重大事故等対処施設の耐震設計における重大事故と地震の組合せについて」 (新)NS2-補-023-06「重大事故等対処施設の耐震設計における重大事故と地震の組合せについて」	2022/4/12	
21	NS2-補-027-10-18改01	原子炉圧力容器、炉心支持構造物及び原子炉圧力容器内部構造物の重大事故時等における耐震評価について	P.10	原子炉圧力容器内部構造物において重大事故等時の条件が設計基準対象施設の評価として実施する条件に包絡されない考え方を明確にするため、6.に原子炉圧力容器内部構造物が「全般施設」に分類されることを記載しました。	2022/4/12	
22	NS2-補-027-10-18改01	原子炉圧力容器、炉心支持構造物及び原子炉圧力容器内部構造物の重大事故時等における耐震評価について	P.12	誤記を修正しました。(下線部参照) (旧) 1×10^{-2} 未満 (新) 1×10^{-2} 年未満	2022/4/12	
23	NS2-補-027-10-36改01	原子炉圧力容器関連及び原子炉格納容器関連の耐震計算書及び強度計算書の図書構成について	P.1	文章表現を適正化しました。 (旧)原子炉圧力容器本体、炉心支持構造物、炉内構造物 (新)原子炉圧力容器本体、炉心支持構造物及び炉内構造物 (旧)原子炉格納容器、原子炉格納容器支持構造物、原子炉格納容器内部構造物 (新)原子炉格納容器、原子炉格納容器支持構造物及び原子炉格納容器内部構造物 (旧)熱伝達率の計算式_許容応力強さ (新)熱伝達率の計算式及び許容応力強さ	2022/4/12	
24	NS2-補-027-10-36改01	原子炉圧力容器関連及び原子炉格納容器関連の耐震計算書及び強度計算書の図書構成について	P.1	表の追加に伴い、2.2及び3.に表を呼び込む文を追加しました。(下線部参照) (旧)なし (新)図書構成の概要を表1に示す。 (旧)図書構成の対比表を別紙2に示す。 (新)図書構成の概要を表2に、対比表を別紙2に示す。	2022/4/12	
25	NS2-補-027-10-36改01	原子炉圧力容器関連及び原子炉格納容器関連の耐震計算書及び強度計算書の図書構成について	P.2~4	既工認と今回工認における図書構成の概要の比較を示すため、表1-1~2-3を追加しました。	2022/4/12	
26	NS2-補-027-10-36改01	原子炉圧力容器関連及び原子炉格納容器関連の耐震計算書及び強度計算書の図書構成について	P.5~7	今回工認における図書番号及び図書名称の誤りを適正化しました。	2022/4/12	
27	NS2-補-027-10-36改01	原子炉圧力容器関連及び原子炉格納容器関連の耐震計算書及び強度計算書の図書構成について	P.8~9	別紙1と重複していた図書を削除しました。(原子炉格納容器スタビライザ、原子炉圧力容器スタビライザ、制御棒駆動機構ハウジング支持金具)	2022/4/12	
28	NS2-補-027-10-36改01	原子炉圧力容器関連及び原子炉格納容器関連の耐震計算書及び強度計算書の図書構成について	P.5.9	今回工認において追加した図書について、備考に追加理由を記載しました。	2022/4/12	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
29	NS2-補-027-10-43改01	原子炉圧力容器関連及び原子炉格納容器関連における工事計画認可で実施する評価手法の概要と荷重比等による評価について	表紙	一般的な表現を使用するため、図書名称を見直しました。(下線部参照) (旧)原子炉圧力容器関連及び原子炉格納容器関連における工事計画認可で実施する評価手法の概要と比倍評価について (新)原子炉圧力容器関連及び原子炉格納容器関連における工事計画認可で実施する評価手法の概要と荷重比等による評価について	2022/4/12	
30	NS2-補-027-10-43改01	原子炉圧力容器関連及び原子炉格納容器関連における工事計画認可で実施する評価手法の概要と荷重比等による評価について	目次	記載内容の見直しに伴い、目次を見直しました。	2022/4/12	
31	NS2-補-027-10-43改01	原子炉圧力容器関連及び原子炉格納容器関連における工事計画認可で実施する評価手法の概要と荷重比等による評価について	全般	一般的な表現を使用するため、以下のとおり用語の見直しを行いました。(下線部参照) (旧)比倍評価 (新)荷重比等による評価	2022/4/12	
32	NS2-補-027-10-43改01	原子炉圧力容器関連及び原子炉格納容器関連における工事計画認可で実施する評価手法の概要と荷重比等による評価について	P.1	文章表現を適正化しました。(下線部参照) (旧)炉心支持構造物、原子炉圧力容器本体、原子炉圧力容器付属構造物_原子炉圧力容器内部構造物)、 原子炉格納容器関連(原子炉格納容器本体、原子炉格納容器内部構造物_原子炉格納容器支持構造物) (新)炉心支持構造物、原子炉圧力容器本体、原子炉圧力容器付属構造物及び原子炉圧力容器内部構造物) 及び原子炉格納容器関連(原子炉格納容器本体、原子炉格納容器内部構造物及び原子炉格納容器支持構造物)	2022/4/12	
33	NS2-補-027-10-43改01	原子炉圧力容器関連及び原子炉格納容器関連における工事計画認可で実施する評価手法の概要と荷重比等による評価について	P.1	注記の記号を適正化しました。(下線部参照) (旧)評価* ¹ (新)評価* (旧)注記* ₁ (新)注記*	2022/4/12	
34	NS2-補-027-10-43改01	原子炉圧力容器関連及び原子炉格納容器関連における工事計画認可で実施する評価手法の概要と荷重比等による評価について	P.1	誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)原子炉圧力容器関連 (新)原子炉圧力容器関連	2022/4/12	
35	NS2-補-027-10-43改01	原子炉圧力容器関連及び原子炉格納容器関連における工事計画認可で実施する評価手法の概要と荷重比等による評価について	P.2	内容を明確にするため、以下の適正化を行いました。(下線部参照) (旧)単一荷重に対して (新)単一荷重(複数の種類又は複数の方向を考慮する場合の1種類又は1方向の荷重)に対して	2022/4/12	
36	NS2-補-027-10-43改01	原子炉圧力容器関連及び原子炉格納容器関連における工事計画認可で実施する評価手法の概要と荷重比等による評価について	P.3	実施内容を明確にするため、4.1の名称を見直しました。(下線部参照) (旧)FEM等による解析の応力を比倍し評価を行う場合 (新)荷重比による応力評価を行う場合	2022/4/12	
37	NS2-補-027-10-43改01	原子炉圧力容器関連及び原子炉格納容器関連における工事計画認可で実施する評価手法の概要と荷重比等による評価について	P.3	項目間の整合のため、4.1(2)の名称を適正化しました。(下線部参照) (旧)FEM及び理論式により求めた単位荷重当たりの発生応力がない場合 (新)FEM等により求めた単位荷重当たりの発生応力がない場合	2022/4/12	
38	NS2-補-027-10-43改01	原子炉圧力容器関連及び原子炉格納容器関連における工事計画認可で実施する評価手法の概要と荷重比等による評価について	P.3	実施内容を明確にするため、4.2の名称を見直しました。 (旧)荷重条件を比倍し評価を行う場合 (新)震度比等により評価用荷重の設定を行う場合	2022/4/12	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
39	NS2-補-027-10-43改01	原子炉圧力容器関連及び原子炉格納容器関連における工事計画認可で実施する評価手法の概要と荷重比等による評価について	P.3	記載の誤りを適正化しました。(下線部参照) (旧)原子炉建屋-大型機器連成解析モデル (新)原子炉建物-大型機器連成解析モデル (旧)剛であることを確認しているため (新)剛構造であることを確認しているため	2022/4/12	
40	NS2-補-027-10-43改01	原子炉圧力容器関連及び原子炉格納容器関連における工事計画認可で実施する評価手法の概要と荷重比等による評価について	P.3	参照箇所を明確にするため、以下の適正化を行いました。(下線部参照) (旧)前項(1)の手法により (新)4.1(1)の手法により	2022/4/12	
41	NS2-補-027-10-43改01	原子炉圧力容器関連及び原子炉格納容器関連における工事計画認可で実施する評価手法の概要と荷重比等による評価について	P.4	文章表現を適正化しました。(下線部参照) (旧)低圧注水ノズルサーマルスリーブ_高圧炉心スプレインズルサーマルスリーブ (新)低圧注水ノズルサーマルスリーブ及び高圧炉心スプレインズルサーマルスリーブ (旧)給水スパージャブケット_炉心スプレイブケット (新)給水スパージャブケット及び炉心スプレイブケット	2022/4/12	
42	NS2-補-027-10-43改01	原子炉圧力容器関連及び原子炉格納容器関連における工事計画認可で実施する評価手法の概要と荷重比等による評価について	P.4	4.の内容との対応をわかりやすくするため、構成及び名称を以下のとおり見直しました。 (旧)6.1 FEM等による解析の応力を比倍し評価を行う場合の計算例 (新)6.1 荷重比による応力評価の計算例 (1) FEM等により求めた単位荷重当たりの発生応力がある場合 (旧)6.2 FEM及び理論式により求めた単位荷重当たりの発生応力がない場合の計算例 (新)6.1 荷重比による応力評価の計算例 (2) FEM等により求めた単位荷重当たりの発生応力がない場合 (旧)6.3 荷重条件を比倍し評価を行う場合の計算例 (新)6.2 震度比等により評価用荷重の設定を行う場合の計算例	2022/4/12	
43	NS2-補-027-10-43改01	原子炉圧力容器関連及び原子炉格納容器関連における工事計画認可で実施する評価手法の概要と荷重比等による評価について	P.7~10,13,16,17	No.30の見直しに伴い、表中で荷重比による評価を適用していることを示す表現を見直しました。 (旧)比倍 (新)荷重比	2022/4/12	
44	NS2-補-027-10-43改01	原子炉圧力容器関連及び原子炉格納容器関連における工事計画認可で実施する評価手法の概要と荷重比等による評価について	P.20	本文との対応をわかりやすくするため、図4のフローを見直しました。	2022/4/12	
45	NS2-補-027-10-43改01	原子炉圧力容器関連及び原子炉格納容器関連における工事計画認可で実施する評価手法の概要と荷重比等による評価について	P.21~37	内圧に対する比率の算出方法を明確にするため、注記により内圧における比率の算出方法を記載しました。	2022/4/12	
46	NS2-補-027-10-43改01	原子炉圧力容器関連及び原子炉格納容器関連における工事計画認可で実施する評価手法の概要と荷重比等による評価について	P.38	No.30の修正に伴い、注記の適正化を行いました。(下線部参照) (旧)比倍し評価 (新)荷重比により評価	2022/4/12	
47	NS2-補-027-10-43改01	原子炉圧力容器関連及び原子炉格納容器関連における工事計画認可で実施する評価手法の概要と荷重比等による評価について	P.39~47	複数の荷重に対して比率を算出する場合の考え方を明確にするため、注記を追加しました。	2022/4/12	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
48	NS2-添2-003-16改01	VI-2-3-3-2-5 差圧検出・ほう酸水注入系配管(ティーよりN11ノズルまでの外管)の耐震性についての計算書	P.目-1~3	項目の追加・変更に伴い、目次を適正化しました。	2022/6/21	
49	NS2-添2-003-16改01	VI-2-3-3-2-5 差圧検出・ほう酸水注入系配管(ティーよりN11ノズルまでの外管)の耐震性についての計算書	P.1	適用している規定がクラス1容器の規定であることを明確にするため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)設計・建設規格 PVB-3110の規定を適用し、 (新)クラス1容器の規定である設計・建設規格 PVB-3110を適用し、	2022/6/21	
50	NS2-添2-003-16改01	VI-2-3-3-2-5 差圧検出・ほう酸水注入系配管(ティーよりN11ノズルまでの外管)の耐震性についての計算書	P.3.6	制御棒駆動機構ハウジングにUボルトで支持されていることを明確にするため、概略構造図等を適正化しました。また、対象設備の概略寸法を示すため、寸法を記入しました。	2022/6/21	
51	NS2-添2-003-16改01	VI-2-3-3-2-5 差圧検出・ほう酸水注入系配管(ティーよりN11ノズルまでの外管)の耐震性についての計算書	P.4	フロー中の「機械的荷重」に地震荷重が含まれないことを明確にするため、「機械的荷重(地震荷重以外)」に適正化しました。	2022/6/21	
52	NS2-添2-003-16改01	VI-2-3-3-2-5 差圧検出・ほう酸水注入系配管(ティーよりN11ノズルまでの外管)の耐震性についての計算書	P.8	「応力解析の方針」の構成の見直しに伴い、「3.3 外荷重条件」の項目を追加しました。これに伴い、項目番号を適正化しました。	2022/6/21	
53	NS2-添2-003-16改01	VI-2-3-3-2-5 差圧検出・ほう酸水注入系配管(ティーよりN11ノズルまでの外管)の耐震性についての計算書	P.8	「応力解析の方針」の構成の見直しに伴い、参照する項目番号を適正化しました。(下線部参照) (旧)4.3節 (新)4.4節	2022/6/21	
54	NS2-添2-003-16改01	VI-2-3-3-2-5 差圧検出・ほう酸水注入系配管(ティーよりN11ノズルまでの外管)の耐震性についての計算書	P.8	耐震評価方法を明確にするため、水平方向及び鉛直方向の動的地震力の組合せ方法についての記載を追加しました。	2022/6/21	
55	NS2-添2-003-16改01	VI-2-3-3-2-5 差圧検出・ほう酸水注入系配管(ティーよりN11ノズルまでの外管)の耐震性についての計算書	P.9	設計震度として考慮する位置を明確にするため、「据付場所及び床面高さ」を記載しました。これに伴い、表の記載を適正化しました。	2022/6/21	
56	NS2-添2-003-16改01	VI-2-3-3-2-5 差圧検出・ほう酸水注入系配管(ティーよりN11ノズルまでの外管)の耐震性についての計算書	P.9	他の耐震計算書と記載を統一するため、設計震度についての注記を適正化しました。(下線部参照) (旧)注記*1:設計用震度 I (弾性設計用地震動Sd)又は静的震度のいずれか大きい方、 若しくはこれを上回る設計震度 *2:設計用震度 I (基準地震動Ss)又はこれを上回る設計震度 (新)注記*1:設計用震度 I (弾性設計用地震動Sd)及び静的震度を上回る設計震度 *2:設計用震度 I (基準地震動Ss)を上回る設計震度	2022/6/21	
57	NS2-添2-003-16改01	VI-2-3-3-2-5 差圧検出・ほう酸水注入系配管(ティーよりN11ノズルまでの外管)の耐震性についての計算書	P.13,21,22	疲労累積係数の計算内容を示すため表7-1およびこれに関する記載を追加しました。また、表の追加に伴い、表番号を適正化しました。	2022/6/21	
58	NS2-添2-003-16改01	VI-2-3-3-2-5 差圧検出・ほう酸水注入系配管(ティーよりN11ノズルまでの外管)の耐震性についての計算書	P.15	解析モデルにおける実機との対応を明確にするため、図中に支持位置等の説明を追記しました。	2022/6/21	
59	NS2-添2-003-10改02	VI-2-3-3-1-1 原子炉圧力容器の応力解析の方針	P.目-1	項目の追加及び名称変更に伴い、目次を適正化しました。	2022/6/21	
60	NS2-添2-003-10改02	VI-2-3-3-1-1 原子炉圧力容器の応力解析の方針	P.1	概要においてSA時の荷重はDB時の荷重に包絡されることを示すため、「1. 概要」の記載を適正化しました。	2022/6/21	
61	NS2-添2-003-10改02	VI-2-3-3-1-1 原子炉圧力容器の応力解析の方針	P.3	対象設備の概略寸法を示すため、概略構造図に寸法を記入しました。 また、概略構造図に示すノズルの名称が分かるように、「主体構造」の記載を適正化しました。	2022/6/21	
62	NS2-添2-003-10改02	VI-2-3-3-1-1 原子炉圧力容器の応力解析の方針	P.4	フロー中の「機械的荷重」に地震荷重が含まれないことを明確にするため、「機械的荷重(地震荷重以外)」に適正化しました。	2022/6/21	
63	NS2-添2-003-10改02	VI-2-3-3-1-1 原子炉圧力容器の応力解析の方針	P.5	他の耐震計算書と記載を統一するため、記号の説明を適正化しました。	2022/6/21	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
64	NS2-添2-003-10改02	VI-2-3-3-1-1 原子炉圧力容器の応力解析の方針	P.10	外荷重についての記載をその他の記載と分けて説明するため、「4.3 外荷重条件」を追加し、外荷重についての記載を「4.2 運転条件」から分離しました。	2022/6/21	
65	NS2-添2-003-10改02	VI-2-3-3-1-1 原子炉圧力容器の応力解析の方針	P.11	項目の追加に伴い、項目番号を適正化しました。	2022/6/21	
66	NS2-添2-003-10改02	VI-2-3-3-1-1 原子炉圧力容器の応力解析の方針	P.11,12	4.は荷重条件についての説明であるため、「荷重の組合せ及び応力評価」の項目名を「荷重の組合せ」に適正化し、応力評価に関する記載を「5.3 応力の評価」に移動しました。	2022/6/21	
67	NS2-添2-003-10改02	VI-2-3-3-1-1 原子炉圧力容器の応力解析の方針	P.13	誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)5.2節 (新)5.4節	2022/6/21	
68	NS2-添2-003-10改02	VI-2-3-3-1-1 原子炉圧力容器の応力解析の方針	P.13	表3-3の注記と同等の記載を行うため、「5.4.1 疲労解析不要の検討」の記載を適正化しました。	2022/6/21	
69	NS2-添2-003-10改02	VI-2-3-3-1-1 原子炉圧力容器の応力解析の方針	P.13	項目の追加に伴い、項目番号を適正化しました。(下線部参照) (旧)4.2節 (新)4.3節	2022/6/21	
70	NS2-添2-003-11改01	VI-2-3-3-1-2 原子炉圧力容器の耐震性についての計算書	P.3~41	「外荷重条件」の項目を追加し、項目名及び項目番号の適正化に伴い、目次を適正化しました。	2022/6/21	
71	NS2-添2-003-11改01	VI-2-3-3-1-2 原子炉圧力容器の耐震性についての計算書	P.48,59,73,87,98 .111,127,140,15 7,172,187,199,2 11,224,243,256, 269,281,293,308	表の記載内容との整合のため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)疲労累積係数が厳しくなる評価点を記載する。 (新)応力分類ごとに厳しくなる評価点を記載する。	2022/6/21	
72	NS2-添2-003-11改01	VI-2-3-3-1-2 原子炉圧力容器の耐震性についての計算書	P.51,62,76,90,10 1,114,130,143,1 60,175,190,202, 214,228,246,259 ,272,284,296,31 1,327	「応力解析の方針」の構成見直しに伴い、項目の追加、項目名及び項目番号を適正化しました。 また、「荷重の組合せ」での参照先の項目番号を「4.3節」から「4.4節」に修正しました。	2022/6/21	
73	NS2-添2-003-11改01	VI-2-3-3-1-2 原子炉圧力容器の耐震性についての計算書	P.51,62,76,90,10 1,114,130,143,1 60,175,190,202, 214,228,246,259 ,272,284,296,31 1	評価条件を明確にするため、適用する圧力について追記しました。	2022/6/21	
74	NS2-添2-003-11改01	VI-2-3-3-1-2 原子炉圧力容器の耐震性についての計算書	P.52,63,77,91,10 2,115,131,144,1 61,176,191,203, 215,229,247,260 ,273,285,297,31 2	応力計算方法を明確にするため、「(2) 計算方法」を追記しました。	2022/6/21	
75	NS2-添2-003-11改01	VI-2-3-3-1-2 原子炉圧力容器の耐震性についての計算書	P.52,63,77,91,10 2,115,131,144,1 61,176,191,203, 215,229,247,260 ,273,285,297,31 2,328	誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)5.1.2項 (新)5.3.2項	2022/6/21	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
76	NS2-添2-003-11改01	VI-2-3-3-1-2 原子炉圧力容器の耐震性についての計算書	P.62,76,90,101,114,130,143,160,175,190,202,214,228,246,259,272,284,296,311	応力集中係数の計算方法を明確にするため、記載を追記しました。	2022/6/21	
77	NS2-添2-003-11改01	VI-2-3-3-1-2 原子炉圧力容器の耐震性についての計算書	P.95	表5-4において、P02及びP02'における S_n^{*1} の評価結果について、簡易弾塑性解析を行うことを示す「*」の記載が漏れていたため、適正化しました。	2022/6/21	
78	NS2-添2-003-15改01	VI-2-3-3-2-4 ジェットポンプ計測配管貫通部シールの耐震性についての計算書	P.目-1,2	「外荷重条件」の項目を追加し、目次を適正化しました。	2022/6/21	
79	NS2-添2-003-15改01	VI-2-3-3-2-4 ジェットポンプ計測配管貫通部シールの耐震性についての計算書	P.3	貫通部シールの構造の詳細を示すため、構造図を適正化しました。	2022/6/21	
80	NS2-添2-003-15改01	VI-2-3-3-2-4 ジェットポンプ計測配管貫通部シールの耐震性についての計算書	P.5	「応力解析の方針」の構成見直しに伴い、項目の追加及び項目番号を適正化しました。また、「荷重の組合せ」での参照先の項目番号を「4.3節」から「4.4節」に修正しました。	2022/6/21	
81	NS2-添2-003-15改01	VI-2-3-3-2-4 ジェットポンプ計測配管貫通部シールの耐震性についての計算書	P.6	評価条件を明確にするため、適用する応力集中係数についての記載を追加しました。また、適用する圧力について記載しました。	2022/6/21	
82	NS2-添2-003-15改01	VI-2-3-3-2-4 ジェットポンプ計測配管貫通部シールの耐震性についての計算書	P.7	「応力解析の方針」の構成見直しに伴い、参照する項目番号を見直しました。	2022/6/21	
83	NS2-添2-003-15改01	VI-2-3-3-2-4 ジェットポンプ計測配管貫通部シールの耐震性についての計算書	P.12	解析条件を明確にするため、要素数及び節点数の記載を追記しました。	2022/6/21	
84	NS2-補-027-10-8改01	原子炉圧力容器の耐震性についての計算書における斜角ノズルの評価方針についての補足説明資料	P.2	図の示す内容を明確にするため、図を適正化しました。	2022/6/21	
85	NS2-補-027-10-8改01	原子炉圧力容器の耐震性についての計算書における斜角ノズルの評価方針についての補足説明資料	P.3	記載方法の統一のため、引用文献についての記載を適正化しました。	2022/6/21	
86	NS2-補-027-10-18改02	原子炉圧力容器、炉心支持構造物及び原子炉圧力容器内部構造物の重大事故時等における耐震評価について	P.1,2	表現の適正化のため、表2-1の注記の記載を見直しました。(下線部参照) (旧)原子炉圧力容器内部構造物がJEAGに基づき耐震Aクラスに分類されたことに対して (新)原子炉圧力容器内部構造物はJEAGに基づき耐震Aクラスに分類されていたことに対して	2022/6/21	
87	NS2-補-027-10-18改02	原子炉圧力容器、炉心支持構造物及び原子炉圧力容器内部構造物の重大事故時等における耐震評価について	P.10	原子炉圧力容器内部構造物の重大事故時等の耐震評価について簡潔に示すため、考え方については他の補足説明資料を参照することとして表現を適正化しました。(下線部参照) (旧)NS2-補-023-06「重大事故等対処施設の耐震設計における重大事故と地震の組合せについて」において「全般施設」に分類されることから、重大事故時等の使用圧力及び使用温度が、設計基準対象施設の評価として実施する許容応力状態IVASの評価圧力及び評価温度に包摂されないため、重大事故時における評価として、許容応力状態VASの評価を実施する。 (新)NS2-補-023-06「重大事故等対処施設の耐震設計における重大事故と地震の組合せについて」に従い、「全般施設」の重大事故時等の耐震評価として許容応力状態VASの評価を実施する。	2022/6/21	
88	NS2-補-027-10-36改02	原子炉圧力容器関連及び原子炉格納容器関連の耐震計算書及び強度計算書の図書構成について	P.1	表1-1の記載内容との整合のため、図書名称の記載を見直しました。また、2.2と3.の表現を統一するため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)今回工認では、以下の様に耐震評価部分と強度評価部分とを分けて添付書類を作成している。図書構成の概要を表1に示す。 原子炉圧力容器関連において、別表第二の機器名称の分類に合わせ、耐震評価部分は「〇〇の耐震性についての計算書」に、強度評価部分は「〇〇の強度計算書」に振り分けており、既工認、今回工認の図書構成の対比表を別紙1に示す。 (新)今回工認では、耐震評価部分は「〇〇の耐震性についての計算書」に、強度評価部分は「〇〇の強度計算書」又は「〇〇の応力計算書」に振り分けている。 既工認、今回工認の図書構成の概要を表1に、対比表を別紙1に示す。	2022/6/21	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
89	NS2-補-027-10-36改02	原子炉圧力容器関連及び原子炉格納容器関連の耐震計算書及び強度計算書の図書構成について	P.1	2.2と3.の表現を統一するため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)今回工認においては、耐震評価部分を「〇〇の耐震性についての計算書」、強度評価部分のうち原子炉格納容器及びベント系設備については「〇〇の強度計算書」、原子炉格納容器安全設備の主配管については「〇〇の応力計算書」として、機器ごとの異なる図書番号で整理している。 (新)今回工認では、耐震評価部分は「〇〇の耐震性についての計算書」、強度評価部分は「〇〇の強度計算書」に振り分けている。	2022/6/21	
90	NS2-補-027-10-36改02	原子炉圧力容器関連及び原子炉格納容器関連の耐震計算書及び強度計算書の図書構成について	P.2	原子炉中性子計装案内管の耐震評価を実施していることを示すため、表1-2の備考の記載を追記しました。	2022/6/21	
91	NS2-補-027-10-43改02	原子炉圧力容器関連及び原子炉格納容器関連における工事計画認可で実施する評価手法の概要と荷重比等による評価について	目次	記載適正化に伴うページ番号の変更を反映しました。	2022/6/21	
92	NS2-補-027-10-43改02	原子炉圧力容器関連及び原子炉格納容器関連における工事計画認可で実施する評価手法の概要と荷重比等による評価について	P.3,5,21	記載内容の明確化のため、項目名を適正化しました。(下線部参照) (旧)(1) FEM等により求めた単位荷重当たりの発生応力がある場合 (2) FEM等により求めた単位荷重当たりの発生応力がない場合 (新)(1) FEM等により求めた単位荷重当たりの発生応力の算出結果がある場合 (2) FEM等により求めた単位荷重当たりの発生応力の算出結果がない場合	2022/6/21	
93	NS2-補-027-10-43改02	原子炉圧力容器関連及び原子炉格納容器関連における工事計画認可で実施する評価手法の概要と荷重比等による評価について	P.3,4	記載内容を明確にするため、記載を適正化しました。(下線部参照) また、注記の記載内容を適正化しました。 (旧)評価用荷重を設定し、ノズルのサーマルスリーブにおいては4.1(1)の手法により応力・・・ (新)評価用荷重を設定する。設定した評価用荷重を用いて、ノズルのサーマルスリーブにおいては4.1(1)の手法により荷重比を用いて応力・・・	2022/6/21	
94	NS2-補-027-10-43改02	原子炉圧力容器関連及び原子炉格納容器関連における工事計画認可で実施する評価手法の概要と荷重比等による評価について	P.21	フロー中の誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)4.2(1) (新)4.1(1)	2022/6/21	
95	NS2-補-027-10-43改02	原子炉圧力容器関連及び原子炉格納容器関連における工事計画認可で実施する評価手法の概要と荷重比等による評価について	P.66	一般的な表現への見直すため、図中の「比倍比」を「荷重比」に適正化しました。	2022/6/21	
96	NS2-添2-003-13改01	VI-2-3-3-2-2 原子炉格納容器スタビライザの耐震性についての計算書	P.目-1,2	記載内容の見直しに伴い、目次を修正しました。	2022/12/1	
97	NS2-添2-003-13改01	VI-2-3-3-2-2 原子炉格納容器スタビライザの耐震性についての計算書	P.3,11	機器名称を適正化しました。(下線部参照) (旧)原子炉遮蔽壁 (新)ガンマ線遮蔽壁	2022/12/1	
98	NS2-添2-003-13改01	VI-2-3-3-2-2 原子炉格納容器スタビライザの耐震性についての計算書	P.3	構造を明確にするため、断面A-Aにガンマ線遮蔽壁の説明を追加しました。	2022/12/1	
99	NS2-添2-003-13改01	VI-2-3-3-2-2 原子炉格納容器スタビライザの耐震性についての計算書	P.3	図示する範囲の適正化のため、A-A断面を示す矢印の位置を見直しました。	2022/12/1	
100	NS2-添2-003-13改01	VI-2-3-3-2-2 原子炉格納容器スタビライザの耐震性についての計算書	P.5	他の図書との記載の統一のため、記号の説明の記載内容を見直しました。	2022/12/1	
101	NS2-添2-003-13改01	VI-2-3-3-2-2 原子炉格納容器スタビライザの耐震性についての計算書	P.5,8,16	モデル化条件を明確にするため、モデル化における質量の設定方法を記載し、部材ごとの質量について記載を追加しました。	2022/12/1	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
102	NS2-添2-003-13改01	VI-2-3-3-2-2 原子炉格納容器スタビライザの耐震性についての計算書	P.6	他の図書との記載の統一のため、「計算精度と数値の丸め方」を追加しました。	2022/12/1	
103	NS2-添2-003-13改01	VI-2-3-3-2-2 原子炉格納容器スタビライザの耐震性についての計算書	P.8	評価条件を明確にするため、地震力の考慮方法及び水平方向及び鉛直方向の動的地震力の組合せ方法について記載を追加しました。	2022/12/1	
104	NS2-添2-003-13改01	VI-2-3-3-2-2 原子炉格納容器スタビライザの耐震性についての計算書	P.8	死荷重の表示方法を適正化しました。	2022/12/1	
105	NS2-添2-003-13改01	VI-2-3-3-2-2 原子炉格納容器スタビライザの耐震性についての計算書	P.8	一般的な用語により説明するため、記載を見直しました。(下線部参照) (旧)(2)拘束条件は、・・・とし、周期対称形状の構造に対してパイプ・・・ (新)(2)拘束条件は、・・・とし、周期的に円形配置されるパイプ・・・	2022/12/1	
106	NS2-添2-003-13改01	VI-2-3-3-2-2 原子炉格納容器スタビライザの耐震性についての計算書	P.9	評価条件を明確にするため、組合せ応力の許容応力について記載を追加しました。	2022/12/1	
107	NS2-添2-003-13改01	VI-2-3-3-2-2 原子炉格納容器スタビライザの耐震性についての計算書	P.14	誤記を訂正しました。	2022/12/1	
108	NS2-添2-003-13改01	VI-2-3-3-2-2 原子炉格納容器スタビライザの耐震性についての計算書	P.19	他の計算書との記載の統一のため、記載を見直しました。	2022/12/1	
109	NS2-添2-003-14改01	VI-2-3-3-2-3 制御棒駆動機構ハウジング支持金具の耐震性についての計算書	P.目-1.2	記載内容の見直しに伴い、目次を修正しました。	2022/12/1	
110	NS2-添2-003-14改01	VI-2-3-3-2-3 制御棒駆動機構ハウジング支持金具の耐震性についての計算書	P.2.6	構造の説明の充実のため、主体構造について記載を見直しました。	2022/12/1	
111	NS2-添2-003-14改01	VI-2-3-3-2-3 制御棒駆動機構ハウジング支持金具の耐震性についての計算書	P.2.11,13	構造を分かりやすくするため、鳥瞰図を追加しました。	2022/12/1	
112	NS2-添2-003-14改01	VI-2-3-3-2-3 制御棒駆動機構ハウジング支持金具の耐震性についての計算書	P.2.3,4,7,8,17	他の図書との記載の統一のため、記載を見直しました。	2022/12/1	
113	NS2-添2-003-14改01	VI-2-3-3-2-3 制御棒駆動機構ハウジング支持金具の耐震性についての計算書	P.4	曲げ応力以外の評価結果の追加に伴い、記号を追加しました。	2022/12/1	
114	NS2-添2-003-14改01	VI-2-3-3-2-3 制御棒駆動機構ハウジング支持金具の耐震性についての計算書	P.5	他の図書との記載の統一のため、「計算精度と数値の丸め方」を追加しました。	2022/12/1	
115	NS2-添2-003-14改01	VI-2-3-3-2-3 制御棒駆動機構ハウジング支持金具の耐震性についての計算書	P.9	評価条件を明確にするため、地震力の考慮方法及び水平方向及び鉛直方向の動的地震力の組合せ方法について記載を追加しました。	2022/12/1	
116	NS2-添2-003-14改01	VI-2-3-3-2-3 制御棒駆動機構ハウジング支持金具の耐震性についての計算書	P.14	評価条件を明確にするため、LOCA時の荷重の組合せについて考え方を記載しました。	2022/12/1	
117	NS2-添2-003-15改02	VI-2-3-3-2-4 ジェットポンプ計測配管貫通部シールの耐震性についての計算書	P.6	解析モデルへの荷重の作用方法を明確にするため、記載を見直しました。	2022/12/1	
118	NS2-添2-003-15改02	VI-2-3-3-2-4 ジェットポンプ計測配管貫通部シールの耐震性についての計算書	P.11	図1-1と図3-1の対応を明確にするため、図3-1に正面図を追加しました。	2022/12/1	
119	NS2-添2-003-16改02	VI-2-3-3-2-5 差圧検出・ほう酸水注入系配管(ティーよりN11ノズルまでの外管)の耐震性についての計算書	P.6,15	対象設備の構造を示すため、部材の情報を追加しました。	2022/12/1	
120	NS2-補-027-10-28改01	原子炉圧力容器の耐震性についての計算書におけるブラケット類の応力評価について	目次	他の図書との記載の統一のため、目次を追加しました。	2022/12/1	
121	NS2-補-027-10-28改01	原子炉圧力容器の耐震性についての計算書におけるブラケット類の応力評価について	P.3	応力比を明確にするため、記載を追加しました。	2022/12/1	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
122	NS2-補-027-10-69改01	原子炉圧力容器及び原子炉格納容器の構造強度評価における形状係数の設定について	目次	他の図書との記載の統一のため、目次を追加しました。	2022/12/1	
123	NS2-補-027-10-69改01	原子炉圧力容器及び原子炉格納容器の構造強度評価における形状係数の設定について	P.6	「追而」としていた箇所について記載しました。	2022/12/1	
124	NS2-補-027-10-70改01	差圧検出・ほう酸水注入系配管の解析モデル	目次	記載内容の追加に伴い、目次を見直しました。	2022/12/1	
125	NS2-補-027-10-70改01	差圧検出・ほう酸水注入系配管の解析モデル	P.3	用語の統一のため、「節点」を「質点」に見直しました。	2022/12/1	
126	NS2-補-027-10-70改01	差圧検出・ほう酸水注入系配管の解析モデル	P.3	応力評価点③及び⑤の示す位置の誤りを適正化しました。	2022/12/1	
127	NS2-補-027-10-70改01	差圧検出・ほう酸水注入系配管の解析モデル	P.3	解析モデルのモデル化条件を明確にするため、拘束条件について記載を追加しました。	2022/12/1	
128	NS2-補-027-10-70改01	差圧検出・ほう酸水注入系配管の解析モデル	P.3,4	対象設備の構造を示すため、部材の情報を追加しました。	2022/12/1	
129	NS2-補-027-10-70改01	差圧検出・ほう酸水注入系配管の解析モデル	P.5	記載内容の充実のため、配管の接続先の情報を記載しました。	2022/12/1	
130	NS2-補-027-10-70改01	差圧検出・ほう酸水注入系配管の解析モデル	P.5	記載の適正化のため、原子炉格納容器貫通部を示す位置を見直しました。	2022/12/1	
131	NS2-補-027-10-70改01	差圧検出・ほう酸水注入系配管の解析モデル	P.7	剛構造であることを明確にするため、注記の記載を見直しました。	2022/12/1	
132	NS2-補-027-10-70改01	差圧検出・ほう酸水注入系配管の解析モデル	P.8	検討条件を明確にするため、記載を見直しました。	2022/12/1	
133	NS2-補-027-10-70改01	差圧検出・ほう酸水注入系配管の解析モデル	P.10	検討内容を踏まえた記載とするため、記載を適正化しました。 (旧)妥当である (新)問題無い	2022/12/1	
134	NS2-補-027-10-71改01	原子炉圧力容器及び圧力容器付属構造物の簡易弾塑性解析結果について	目次	他の図書との記載の統一のため、目次を追加しました。	2022/12/1	
135	NS2-補-027-10-71改01	原子炉圧力容器及び圧力容器付属構造物の簡易弾塑性解析結果について	P.3	添付する表の誤りを修正しました。	2022/12/1	